

災害時の避難のポイント

災害が発生し、家屋内に止まることが危険な状態になった場合は、落ち着いてすばやく避難する必要があります。その際には、子どもや高齢者などの避難行動要支援者の保護を念頭に置き、近所の一人暮らし高齢者世帯などにも声をかけるなど近隣で協力することが大切です。

避難に対する基本的な考え方

避難は自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。それぞれが自ら判断し、適切な行動を取らなければなりません。



命を守る最低限の行動とは

危険な状況のなかでの避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定された避難場所への移動

- ① **水平避難** だけでなく、**命を守る最低限の行動**
- ② **垂直避難** が必要な場合もあります。



① 水平避難

例えば

- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい
- 流れがあり、ひざ上まで浸水している（50センチ以上）
- 浸水は20センチ程度だが、水の流れる速度が速い
- 浸水は10センチ程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

② 垂直避難

土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。道路が冠水しているときや、夜間で見通しが悪いときは、上階などへ「垂直避難」しましょう。

近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中でより安全な場所（がけから離れた部屋や2階など）に避難しましょう。

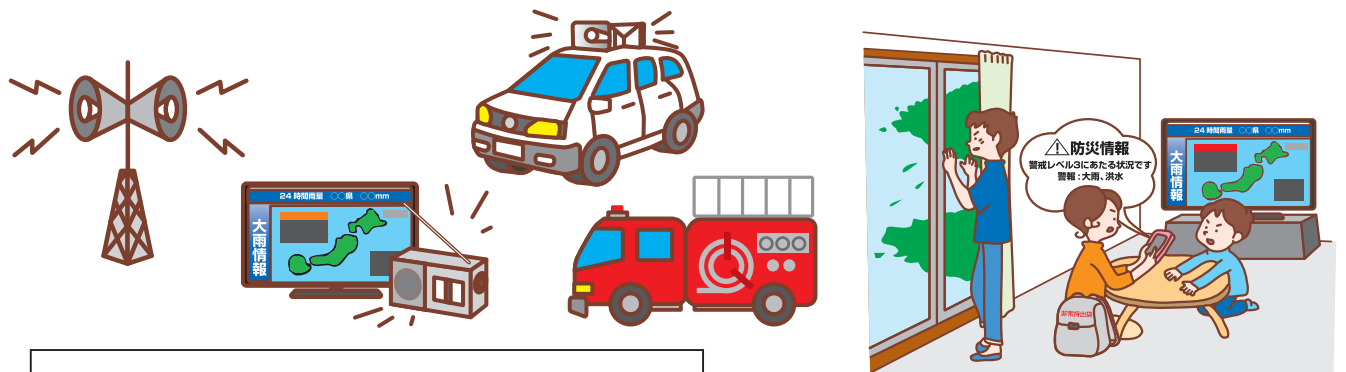


情報の伝達経路

町では、災害が発生もしくは発生のおそれがある場合には、以下のように情報が伝達されます。大雨の際には、テレビ、ラジオ、インターネットなどで河川の水位情報や雨量、警報などの情報を早くから入手し、早めの避難を心がけましょう。

高千穂町

避難情報



- | | |
|----------|-----------|
| ○防災行政無線 | ○エリアメール |
| ○町ホームページ | ○LINE |
| ○テレビ高千穂 | ○広報車、消防車両 |
| ○テレビ、ラジオ | など |

町民のみなさん